

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

優先 順位	項目 番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	今後は市内の感染状況に応じて、対面開催を増やす予定にしている。日頃の取り組みを写真や動画でわかりやすく伝えるようにしているが、今後も更に出席者からの意見や質問をより伝えていただけるよう、「議題(議題に応じた参加者の選定等)」や「進行方法」等を検討していく予定である。	日頃の取り組みをわかりやすく伝えることができるように、工夫を重ねていく。参加者の方々に気軽に意見が言えるような進行方法や、日頃の関わり方を増やしていく。	・写真や動画だけでなく、ホームで作ったおやつや季節の野菜等をいただいてもらい、ホームの雰囲気や五感で感じることができるよう努める。 ・司会進行では、昔話や地域の特徴などを聞き出せるような工夫や技術の習得を行う。	24 ヶ月
2	26	今後もアセスメントに、ADLとIADLの能力(できそうなこと)・介助内容・医療情報(診断名、医療処置等)・課題分析結果を記入し、ケアプラン(介護計画)と連動させていくとともに、家族との話し合いの機会を増やしていく予定である。	認知症での周辺症状を当たり前とせず、受診時には医師に報告と相談を行い適切な検査ができるよう努める。介護計画と連動し、家族に説明し同意を得る。	・医師にわかりやすいように、状況に応じて動画や画像での報告や相談も検討する。 ・家族との面会時や、面会が難しい家族にはSNSや電話にて介護計画書への同意を得る。	24 ヶ月
3	35	19時以降は、ホームの職員が1人体制になる。2024年5月から2カ月に1回の通報訓練等を行うとともに、職員向けのBCP研修を行い、更なる実践につなげていく予定である。	2カ月に1回のペースで、職員に通報訓練等の説明を行う。BCPも同様に、見直しや変更を全職員で行っていく。	・職員会議で山田が2カ月に1回、通補訓練やBCP等の確認や変更の説明を実施していく。	24 ヶ月
4	35	避難所の1つであった中学校が閉校になり、今後も地域全体の避難場所、避難方法等の検討を続けていく予定である。	地域の状況の把握を行い、有事に備えた準備や行動をとることができる。	・運営推進会議等で地域の状況の確認を行う。それを山田が職員会議で議題にあげ避難方法等を職員で検討する。	24 ヶ月
5					ヶ月